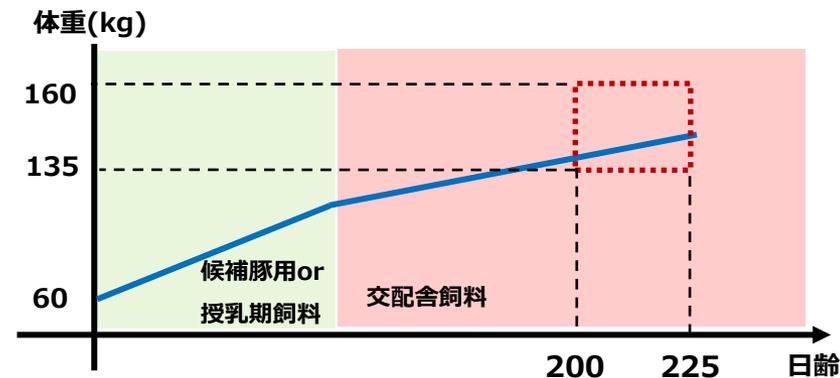


栄養規格表と給餌プログラム

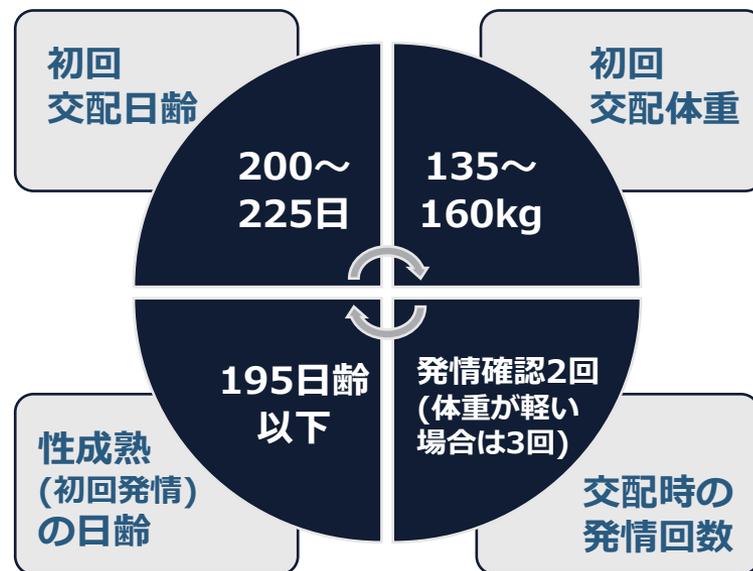
繁殖 ①

ステージ	候補豚◎	妊娠用	授乳用
体重 kg	60-90	-	-
TDN % ※1	74	74	79.3
ME kcal/kg	3,126	3,126	3,350
総リジン % ※2	0.90	0.65	1.11
SIDリジン %	0.80	0.58	1.00
総リジン/ME g/Mcal ※2	2.89	2.09	3.35
SIDリジン/ME g/Mcal	2.57	1.86	2.99
SIDリジン/NE g/Mcal	3.46	2.51	3.98
SIDリジンg/日	-	-	59.5
Ca/P 比率	1.25-1.50	1.50	1.50
STTD P/ ME (g/Mcal)	1.04	1.36	1.30
有効P/ME (g/Mcal)	0.89	1.29	1.19
ナトリウム %	0.25	0.24	0.24
SIDアミノ酸比率			
リジン	100	100	100
メチオニン+シスチン	58	70	53
トレオニン	65	76	64
トリプトファン	18	19	19
バリン	68	71	64
イソロイシン	56	58	56
ロイシン	101	92	114
ヒスチジン	34	35	40
フェニルアラニン+チロシン	95	96	113

候補豚育成の目安



農場の環境や疾病状況によって発育は異なります。
飼料の切替え時期やエネルギーレベルで調整可能です。



青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

※1 TDN値は、ME値から推測したものです。

※2 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。

栄養規格表と給餌プログラム

繁殖 ②

妊娠期間の給餌管理

群平均で最低SIDリジン11g/日の摂取量を想定

初産豚

2.0 kg/日
(ME = 2.95
Mcal/kg)

- 初回交配時の体重に関係なく初産豚には妊娠期全体で一定の給餌レベル

経産豚

2.7 kg/日
(ME = 2.95
Mcal/kg)

痩せ

- 妊娠期のどのステージでも痩せのコンディションの母豚
- 30日間の給餌でキャリパスコアを2単位分増加させるレベル
- 母豚のボディコンディションが目標まで回復したかどうかを確認するため再評価する

目標

2.0 kg/日
(ME = 2.95
Mcal/kg)

- 理想的なボディコンディションの経産豚を妊娠期全体でキャリパスコア1.7単位分増加させるベース給餌レベル*

3産目以降の母豚の妊娠後期においては、給餌レベルを最大0.75Mcal ME /日（または0.55Mcal NE/日）増加させることを検討*

過肥

1.7 kg/日
(ME = 2.95
Mcal/kg)

- 妊娠期間0～30日目及び90-112日目までの過肥母豚: 5.9 Mcal ME/日 or 4.4 Mcal NE/日
- 妊娠期間30-90日目の過肥母豚: 4.9 Mcal ME/日 or 3.7 Mcal NE/日^o.
- 妊娠初期及び後期の過肥母豚に対しPIC推奨の維持レベルを下回る給餌管理はしない



* 平均体重440 ポンド (200kg)の母豚に基づく推定

[§] 3産目以降の母豚の多くは体重が200kg を超え、妊娠後期はサイクルの中で最も体重が重くなり、維持レベルは増加する

^o 妊娠期間において過肥の母豚のボディコンディションを調整することはとても難しい。

給餌量はボディコンディションと飼料エネルギーレベルによって調整してください。

給餌量算出例 : 3 Mcal ME/kgの飼料の場合 : 5.9 Mcal ME/日 ÷ 3 Mcal ME/kg ≒ 2 kg/日

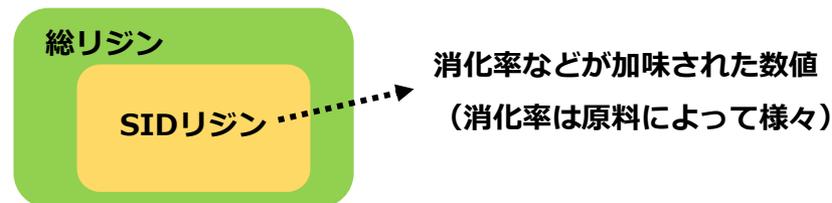
栄養規格表と給餌プログラム

離乳中期まで

ステージ	離乳1	離乳2
体重 kg	5.5-7.5	7.5-11.5
TDN % ※ ¹	80.5	80.5
ME kcal/kg	3,395	3,395
総リジン % ※ ²	1.64	1.60
SIDリジン %	1.46	1.42
Ca	0.65	0.65
STTD P %	0.50	0.45
有効P %	0.45	0.40
総リジン/ME g/Mcal ※ ²	4.83	4.70
SIDリジン/ME g/Mcal	4.30	4.18
SIDリジン/NE g/Mcal	5.81	5.65
ナトリウム %	0.40	0.35
乳糖 %	15	7.5
SIDアミノ酸比率		
リジン	100	100
メチオニン+シスチン	58	58
トレオニン	65	65
トリプトファン	20	19
バリン	67	67
イソロイシン	55	55
ロイシン	100	100
ヒスチジン	32	32
フェニルアラニン+チロシン	92	92

◆ SIDリジンとは

- 標準化回腸可消化リジン。小腸(回腸)末端までに消化されたリジン。



- ※この資料の総リジンはとうもろこし、大豆粕使用を想定し、SIDリジン÷0.89程度として算出

◆ エネルギーとの比率

- SIDリジン/ME (g/Mcal) 、SIDリジン/NE (g/Mcal) など。必要なアミノ酸量はエネルギーとの比率が基準となっています。

(算出例)

SIDリジン/ME が 3.8 (g/Mcal) の飼料をつくる場合、
エネルギーレベルを ME=3.4 Mcal /kgと設定すれば
必要なSIDリジン量は
 $3.8 \times 3.4 = 12.92 \text{ (g/kg)} = 1.29 \%$

青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

※1 TDN値は、ME値から推測したものです。

※2 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。

栄養規格表と給餌プログラム

離乳中後期～肥育まで

項目	離乳3	離乳4	育成	肥育前期	肥育後期
体重 kg ※ ¹	11.5-23	23-35	35-50	50-70	70-120
TDN % ※ ²	80.5	78	78	78	78
ME kcal/kg	3,395	3,300	3,300	3,300	3,300
総リジン % ※ ³	1.48	1.32	1.19	1.04	0.84
SIDリジン %	1.32	1.17	1.06	0.93	0.75
STTD P %	0.45	0.40	0.37	0.33	0.28
有効P %	0.39	0.35	0.32	0.29	0.24
総リジン/ME g/Mcal ※ ³	4.37	3.99	3.60	3.16	2.55
SIDリジン/ME g/Mcal	3.89	3.55	3.20	2.81	2.27
SIDリジン/NE g/Mcal	5.31	4.84	4.35	3.81	3.02
Ca/P 比率	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50	1.25-1.50
STTD P/ME (g/Mcal)	1.32	1.22	1.12	1.01	0.84
有効P /ME (g/Mcal)	1.14	1.05	0.96	0.87	0.72
ナトリウム %	0.28	0.25	0.25	0.25	0.25
SIDアミノ酸比率					
リジン	100	100	100	100	100
メチオニン+シスチン	58	58	58	58	58
トレオニン	65	65	65	65	66
トリプトファン	19	18	18	18	18
バリン	68	68	68	68	68
イソロイシン	56	56	56	56	56
ロイシン	101	101	101	101	102
ヒスチジン	34	34	34	34	34
フェニルアラニン+チロシン	94	94	94	94	96



左記アミノ酸量は蛋白質（赤肉）の合成を最大限引き出します

日本の枝肉取引規格では脂肪の量も重要です

- ◆ 目標枝重、背脂肪を調整するためにできること
- ✓ 餌や水が制限なく食べられる環境整備や疾病管理
- ✓ 離乳中～後期はしっかり増体できるアミノ酸量確保
- ✓ 肥育以降はリジンほかアミノ酸の制限やカロリーUP
- ✓ 十分な仕上げ給餌期間（切り替えタイミング）

青字は、調整例です。実際はエネルギーとの比率 (SIDリジン/ME 等)によって調整してください。

※1 日本における一般的な体重ステージごとに合わせた推定値であり、PIC社のマニュアル記載値とは異なります。

※2 TDN値は、ME値から推測したものです。

※3 総リジン値は、使用する飼料原料によって変化します。